

科目区分	専門分野	単位数・時間数	2単位 90時間	開講時期	2年・後期
授業科目名	地域・在宅看護論実習			授業形態	講義
担当教員	西丸恵子		実務経験	看護師○	
授業概要	在宅療養者と家族の生活特性およびニーズを理解し、その人とその家族らしい尊厳ある生活の継続を支える看護や社会資源活用の実践を学び、それらの基になる社会保障制度についての理解を深める。そして、継続看護、多職種との連携・協働の必要性と看護の役割・機能・態度について考えを深める。				
学習目的	地域(在宅・施設)で療養する人とその家族を理解し、その人の暮らしや生き方を尊重した看護を学ぶ。				
到達目標	1.地域(在宅・施設)における看護の対象が理解できる。 2.地域(在宅・施設)における看護の機能と役割が理解できる。 3.対象に必要な保健・医療・福祉に関するサービスの活用方法が理解できる。 4.継続看護・退院支援のあり方を考え、多職種連携の必要性とその実践が理解できる。 5.地域・在宅看護における倫理的配慮が理解できる。				
授業内容	2年次実習（4日間）【介護老人保健施設】 (地域包括支援センター・居宅介護支援事業所・通所系サービス・入所系サービス) ・各施設のオリエンテーションから、施設の目的・役割・利用者・利用の仕組み事業概要等を理解する。 ・事業に参加し支援の実践を体験し、他職種の理解と多職種での連携・協働と看護の役割について考える。 3年次実習（5日間）【訪問看護ステーション・看護小規模多機能型居宅介護】 ・訪問看護ステーションのオリエンテーションから、ステーションの概要・訪問看護の利用の仕組み・利用者等を理解する。 ・訪問看護に同行し、在宅療養者とその家族の健康状態、生活状況、実施されている看護の実践を体験し、看護上のニーズと支援方法について考える。 ・看護小規模多機能型居宅介護の見学実習を行い、医療的ケアが必要な人の在宅生活を支えていくことのできる地域密着型サービスの役割を理解する。 3年次実習（2日間）【保健所実習】 ・地域保健活動における保健所、市町村の機能と役割を理解する。 ・地域住民の健康上の問題を知り、地域保健活動を通して健康の保持増進のための活動の実践と、看護の役割を理解する。				
評価方法	地域・在宅看護論実習の到達度基準に従い、実習での取り組み、実習記録、実習前から実習後までの学習状況から、学生・教員・臨地実習指導者で評価を行う。総合評価でC以上を合格とする。				
教科書	系統看護学講座 専門分野 地域在宅看護の基盤 第6版第1刷 医学書院 2025 系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護論（2）地域・在宅看護の実践 第6版第1刷 医学書院 2025				
参考図書 等					
備考					